



# 行動障害は なぜ起きるのか

NPOひだまり 高柳

# 目次

知的、発達障害の基本的な話

支援目的を設定する際に考えたいこと

架空の事業所の流れから支援を考える

その他補足

# 目次

## 知的、発達障害の基本的な話

- 知的、発達障害を持つ方の基本的な特性
- 鋭い感覚と鈍い感覚について
- 学習という言葉について
- 行動障害の基本の話

# 知的、発達障害を持つ方の基本的な特性

## ① 集団生活が苦手

- 特に同年齢の方との生活が苦手。
- 上下関係は得意なことが多い。



## ② コミュニケーションが苦手

- 自分の思いを適切に表現できない。
- 言葉以外の意味を把握することが苦手。



# 知的、発達障害を持つ方の基本的な特性

## ③目の前にないことを扱うのが苦手

- 予定変更が苦手。
- 見通しがしっかりと立っているのが好き。



## ④鋭い感覚と鈍い感覚がある。

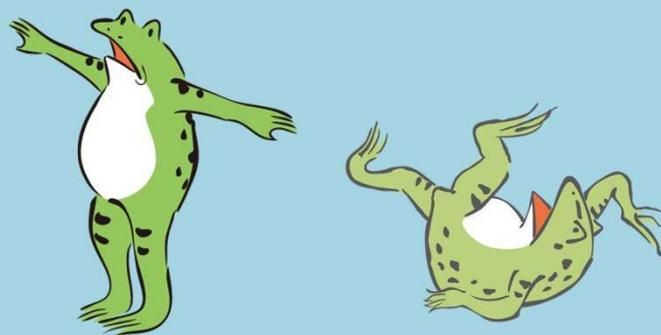
- 触られただけで痛みを感じることも。
- 暑さ、寒さの調整が苦手。



# 知的、発達障害を持つ方の基本的な特性

## ⑤ 筋肉の使い方がアンバランス

- 座り続ける。立ち続けるのが苦手。
- 指先を使った作業が苦手。



## ⑥ 同時に複数のことをするのが苦手

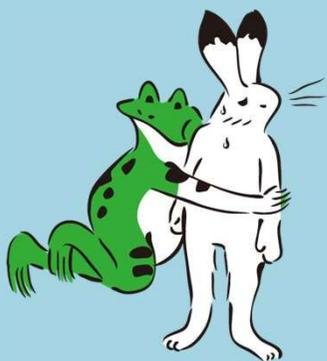
- スケジュールを覚えておくのが苦手。
- 優先順位をつけて行動するのが苦手。



# 知的、発達障害を持つ方の基本的な特性

## ⑦他者と自分の区別が苦手

- 興味のあるものに集中し周りが見づらい。
- 他者の気持ちを想像するのも苦手。



## ⑧学習に時間がかかる

- 1つのことを学ぶのに多くの時間がかかる。
- 学んで獲得したことを変更するのは難しい。



# 鋭い感覚と鈍い感覚

## 五感に関する感覚過敏（かびん）と感覚鈍麻（どんま）

### 聴覚刺激に対する反応。

- 特定の音が好き、嫌い。
- 音が大きく聞こえてしまう。
- 聞き取りにくい音がある。

### 視覚刺激に対する反応。

- キラキラしたものに関心を示す。
- 眩しさを感じにくい。
- LEDの光を痛みと感じる。

# 鋭い感覚と鈍い感覚

## 五感に関する感覚過敏（かびん）と感覚鈍麻（どんま）

### 臭覚刺激に対する反応。

- 臭いを感じにくい。
- 人の匂いを確認したがる。
- 生活に影響するほど臭いが苦手。

### 味覚刺激に対する反応。

- 食べられないものを口に入れる。
- 辛さや苦さを感じない。
- 特定の味が非常に苦手。

# 鋭い感覚と鈍い感覚

五感に関する感覚過敏（かびん）と感覚鈍麻（どんま）

触覚刺激に対する反応。

- 人に触れられるのを嫌がる。痛みを感じていることも。
- 服のタグの付き方や、生地によっては着れない服がある。
- 気温による服装調節が苦手。



# 鋭い感覚と鈍い感覚

体や筋肉の使い方、感じ方がアンバランス

力加減が苦手。

- 体の姿勢制御が苦手。
- 走ったり立ち続けたりが苦手。
- 意識して体を動かすのが苦手。

揺れやスピードに対する反応。

- 眼球運動が苦手。
- 三半規管への刺激が鈍い。



# 学習という言葉について

知識や技術に限らず、あらゆる行動は、  
環境等から受けた経験から学んで獲得していきます。

この過程と結果全体を「学習」と呼びます。

## コミュニケーションに関する学習の未学習・誤学習

- 未学習 . . . 幼少期や学齢期に、特性や環境が絡み合って、適切な行動を学ぶことが出来なくて育ってしまった状態。
- 誤学習 . . . 本人なりに、自分の気持ちや希望を伝えようとして取った行動を周囲が制止するために本人の希望を叶えてしまう。  
その行動をとれば、自分の希望が叶うと間違った学習をした状態。

# 行動障害の基本の話

行動障害とは、本人の特性と置かれた状況の

ミスマッチから問題となっている。

- 行動自体に着目した際に、困る人がいなければ問題にならないものがある。
- 「物や活動の要求」「注目要求」「逃避要求」は、他者への要求から行われているため、適切に要求をくみ取れば、本人がそれをする必要を減らせる。
- 自分一人だけで過ごしていても行う「感覚要求」は、手持無沙汰、暇つぶしなどから行われているため、他に時間をつぶす方法があれば減らすことができる。
- 一つの行動に、複数の特性や要求が影響していることもあり、同じ行動でも場面によっては違う要求で行われていることがあるため、細やかな観察と本人理解が必要になるケースは多い。

# 行動障害の基本の話

## 集団生活の苦手さ

- ルールやスケジュールに沿うことが出来ず、支援者による制御や制止が必要となる行動を示す。

## 特性による身体生命への危険の有無

- てんかん発作や、普通は食べられない物を食べてしまう方も、行動障害とされる。

## 医師の診断等に関わらない生活面での行動である

- てんかん発作のみ、医師の診断が関わる。

## 学習の結果、獲得した行動である。

- 知的、発達障害の特性と、環境とのかかわりの中で学習し、獲得した結果である。

# 障害福祉サービスにおける行動障害

コミュニケーション上の課題

説明の理解に工夫が必要

異食行動

多動・行動の停止

不安定な行動

自らを傷つける行為

他人を傷つける行為

不適切な行為

大声・奇声

突発的な行動

過食・反芻  
(はんすう) 等

てんかん発作

# 支援目的を設定する際に考えたいこと

## その人らしく生活するとはどんなことか

- 落ち着いた生活とは、どんな生活か。
- その人にとって楽しいこと、うれしいことは必要か。
- 楽しいことだけ、うれしいことだけやる生活は、本当に幸せか。
- その人にとって悲しいこと、嫌なことは必要か。
- 悲しいこと、嫌なこと全部から遠ざけることは可能なのか。

# 支援目的を設定する際に考えたいこと

## イヤーマフを着けている方への支援で考える

- ご家族がイヤーマフについて否定的。
- 本人も着けたり外したりと落ち着かない様子がある。
- 着けていないときは、自分の手やひじを使って耳を抑えていることが多い。
- 落ち着かなくなると、大声をだしたり、支援者を叩いたり、手近なものを投げたりすることがある。
- ご家族からは「出来るだけイヤーマフを外して過ごしてほしい」と要望。

# 支援目的を設定する際に考えたいこと。

## 具体的な支援例 「イヤーマフを外す」ことを目的にしない

- 外すことを目的にしてしまうと「本人がイヤーマフをつけずに我慢して過ごす」時間を延ばすことも選択肢になってしまう。
- 医師等からイヤーマフをつけることを提案されるのは、聴覚過敏を主な原因として、不安特性への配慮や本人のストレス軽減などの様々な目的がある。
- 本人の過ごす環境への配慮が進んだ結果、この場面、この場所であれば「本人がイヤーマフを外す選択肢を選ぶ」ことが出来るようにする。つける、つけないを自身の意思によって選択できるのが望ましい。

# 支援目的を設定する際に考えたいこと。

具体的な支援例 「イヤーマフを外す」ことを目的にしない

## 望ましい支援例 ①

- 本人が着けたい（外したい）と言ったら、自由に着けられる（外せる）ようにする。
- 本人が特に苦手な音を把握し、それが集団生活を送るうえで避けられない場面では、本人に着けることを促す。

# 支援目的を設定する際に考えたいこと。

具体的な支援例 「イヤーマフを外す」ことを目的にしない

## 望ましい支援例 ②

- 音刺激の少ない避難場所を用意しておき、本人が辛そうであればそこで静かに過ごせるように配慮する。
- 本人の体調や疲労の度合いによって、我慢できる（課題となる行動を行わずにいられる）状況は大きく変化する。不調のサインを支援するチーム内で共有し、本人の状況把握に努める。

# 支援目的を設定する際に考えたいこと。

具体的な支援例 「イヤーマフを外す」ことを目的にしない

## 望ましくない支援例

- 決められた時間しかイヤーマフを着けられないようなルール設定をする。
  - 「○○さんとこの部屋で過ごすときにはイヤーマフを着けないで過ごそう」というような目標を立てる。
  - 何かの罰としてイヤーマフを外すことを設定する。
- ※ 支援の方法として罰を取り入れるのは、この例に限らずお勧めしません。また、ここでいう罰とは本人や他人の身体生命財産を守るため等やむを得ない事情で支援計画や同意書に則ったうえで行う身体制限、制御、拘束とは違います。

## 支援目的を設定する際に考えたいこと。

目には見えない感覚過敏や集中のしにくさの辛さ

2026/1/15 株式会社ベネッセコーポレーションプレスリリース「不登校・フリースクールに対する保護者の意識調査 小中学生の保護者の約4割が子どもに不登校経験・兆候ありと回答」より

不登校のきっかけ（複数回答可）について小学生での最多は「感覚の過敏さや集中のしにくさなど、発達特性の不安や疲れ（37.5%）」となったと報告されています。中学生においても、3位（27.5%）と「身体感覚と環境の問題」が非常に大きな問題であることがうかがえます。

# 支援目的を設定する際に考えたいこと。

## Q. 不登校になったきっかけについて(上位5位) 複数回答

### 小学生

1位	感覚の過敏さや集中のしにくさなど、発達特性による不安や疲れがあった	37.5%
2位	クラスメイトとの人間関係がうまくいかなかった	36.9%
3位	先生との人間関係がうまくいかなかった	32.1%
4位	学校の雰囲気やルールに合わないと感じた	24.4%
5位	朝起きるのがつらい、体調が安定しなかった	19.6%

### 中学生

1位	朝起きるのがつらい、体調が安定しなかった	36.7%
2位	クラスメイトとの人間関係がうまくいかなかった	32.1%
3位	感覚の過敏さや集中のしにくさなど、発達特性による不安や疲れがあった	27.5%
3位	先生との人間関係がうまくいかなかった	27.5%
5位	クラスの雰囲気が合わなかった	23.9%

小学生 過去・現在不登校経験あり n=168

中学生 過去・現在不登校経験あり n=109

ベネッセ教育情報 不登校ライフナビ調べ

# 目次

架空の事業所の流れから支援を考える。

- 事業所の概要
- Aさんの課題について
- 課題について整理
- 環境調整と本人が困っていることの緩和を考える。

# 架空の事業所の流れから支援を考える。

## 事業所の作業内容等について

基本の受け入れ時間 9 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

サービス名 生活介護 日中一時支援

受け入れ人数 2 0 名

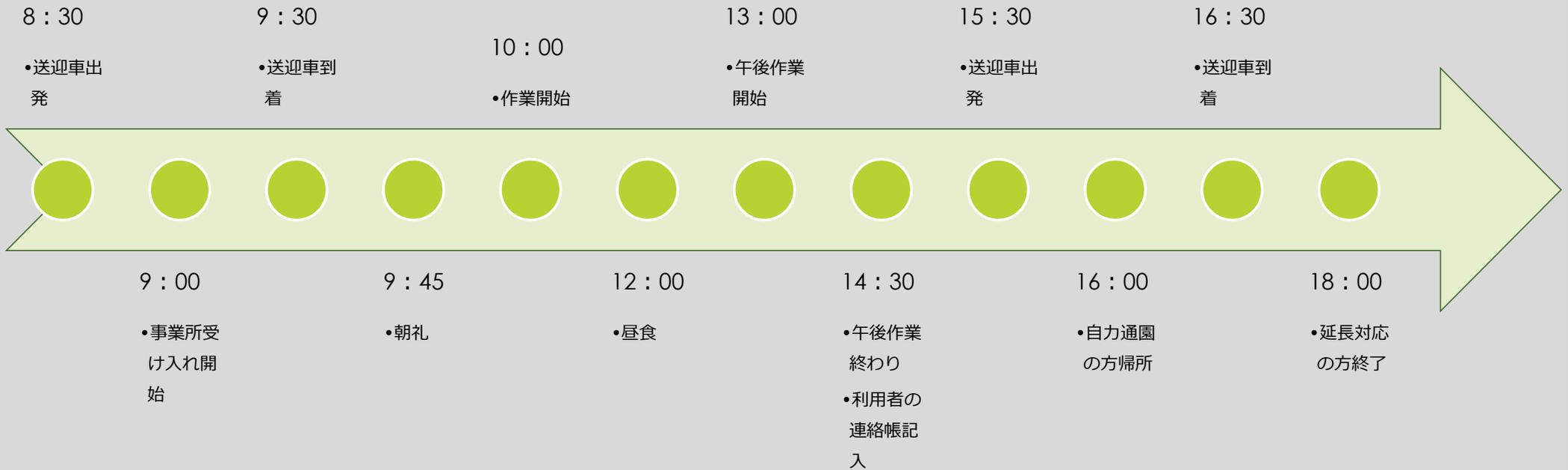
作業内容 作業室兼食堂での内職、下請け作業

事業所敷地内の畑作業

地域新聞等のポスティング作業

# 架空の事業所の流れから支援を考える

## 事業所の1日の流れ



# 架空の事業所の流れから支援を考える。

## Aさんの課題について

畑作業のため、玄関に誘うと大声をあげる。

玄関に向かっても、外出を拒否しようとして逃げようとする。

畑作業に属しているが、作業は好きで黙々と草むしりをすることも得意。

作業室にいるときは部屋の隅で過ごしているが、誰かが近寄ると叩いてしまうことがある。

## 課題となっている行動について考える。

- 課題となっている行動が ~~~~~ 起きているのか

誰が

何に

どこで

いつ

どうして

どのように

- 課題行動によって ~~~~~ 困っているのかを考える。

# 架空の事業所の流れから支援を考える。

## 場面、時間を加えて情報を整理する

9:30頃、母に送られて事業所に登園。

朝礼終わり、畑作業に出かけようと玄関に誘うと大声をあげる。外出を拒否しようとして逃げようとする。

畑作業は好きで黙々と草むしりをすることも得意。畑作業が好きだと思いう理由は、雨の日は畑作業が出来ないのに外に向かおうとすることもあるため、むしろ作業室にあまりいたがらない。

午後作業が終わると部屋の隅で目をつぶり、耳を手で抑えて過ごしているが、誰かが近寄ると叩いてしまうことがある。

# 課題について整理

## 行動を切り離して状況を整理する

◇ 行動が出る前や出る状況の整理を行う。

朝礼終わり、畑作業に出かけようと玄関に誘うと課題となる行動が出る。

雨の日も作業室にあまりいたがらない。

午後作業が終わると部屋の隅で目をつぶり、耳を手で抑えて過ごしている。

# 課題について整理

## 基本的な特性から考える

- ◇ 基本的な特性から、苦手を推測する。
  - ・ 玄関に誘うと嫌がる。(畑作業は好きそう)
    - ① 集団生活が苦手。 ②コミュニケーションが苦手(自分の思いを~~)
  - ・ 雨の日も畑作業に向かおうとする。作業室にはいたがらない。
    - ① 集団生活が苦手。 ②コミュニケーションが苦手(自分の思いを~~)
    - ③ 目の前にないことを扱うのが苦手(予定変更が苦手)
  - ・ 目をつぶり、耳を手で抑えて過ごす。
    - ④ 鋭い感覚と鈍い感覚がある。(聴覚刺激に対する反応)

# 課題について整理

## 場面からも考える

- ◇ 場面の状況から、苦手を推測する。(別々に考えるのをお勧めします)
  - ・ 玄関に誘うと嫌がる。
    - > 朝礼後、畑作業、ポスティングに向かう方で玄関が混みあっている。
  - ・ 雨の日も畑作業に向かおうとする。作業室にはいたがらない。
    - > 雨の日は外に行けないため、作業室が一日中ザワザワしてしまう。
  - ・ 目をつぶり、耳を手で抑えて過ごす。
    - > 午後作業後、帰りの時間まで自由時間になっている。
- 他の方が多く、ザワザワしている状況が苦手なのではないか。

# 課題について整理

## 合わせて考える

- ◇ 基本的な特性と場面を合わせて、苦手を推測する。
  - ・ **ポスティングと畑作業の外作業組がたくさんいる**玄関に誘うと嫌がる。
  - ・ **雨の日外に出られず、たくさんの方がいる**作業室にはいたがらない。
  - ・ **作業が終わり帰りの時間を待っている間のざわつきが苦手**で、目をつぶり、耳を手で抑えて過ごす。

このことから課題行動の背景には

- ① 集団生活が苦手
- ② コミュニケーションが苦手(自分の思いを～～)
- ④ 鋭い感覚と苦手な感覚がある。

があって課題となる行動になっているのではないか。

# 環境調整と本人が困っていることの緩和を考える。

## 例えば、こんな風に緩和を考える

- ・ ポスティングと畑作業の外作業組がたくさんいる玄関に誘うと嫌がる。
  - > ポスティングと畑作業の方で、玄関に向かう順番を作る。  
(畑作業の方は、朝礼後に着替えてから畑作業に向かう等)
  - > 事業所の作りによっては、畑作業用の出入り口を用意する。  
(畑作業に行くことが具体的に伝わりやすいメリットがある)

# 環境調整と本人が困っていることの緩和を考える。

## 例えば、こんな風に緩和を考える

- ・ 雨の日外に出られず、たくさんの方がいる作業室にはいたがらない。
- ・ 作業が終わり帰りの時間を待っている間のざわつきが苦手で、目をつぶり、耳を手で抑えて過ごす。
  - > 本人が苦手な音に触れずに過ごせる場所はあるか。
  - > パーテーションなどで区切ることは出来るか。
  - > イヤーマフ、ノイズキャンセリングイヤホン等で音の軽減につながるか。

# 環境調整と本人が困っていることの緩和を考える。

## 環境調整(合理的配慮)を考える際のポイント

課題の背景にあるものを整理したうえで、コミュニケーションや環境の方を調整する。

- ・ 伝わりやすい話し方。
- ・ 見てわかるスケジュールの提示
- ・ 自分で確認できる作業順番の提示
- ・ 気が散りにくいように整理された空間
- ・ 音や光の量を調整された空間